

重 要

記 入 要 領

○産業廃棄物処分業者の処理状況報告書

○特別管理産業廃棄物処分業者の処理状況報告書

P 1	第 1 面の説明①	P 7	第 5 面の説明①
P 2	第 1 面の説明②	P 8	第 5 面の説明②
P 3	第 3 面の説明①	P 9	第 5 面の説明③
P 4	第 3 面の説明②	P10.....	第 5 面の説明④
P 5	第 3 面の説明③	P11.....	記入要領（補足）
P 6	第 5 面の報告イメージ		

産業廃棄物処分業者の処理状況報告書

(報告対象の期間： 2019 年 10 月 ~ 2020 年 3 月)

2020 年 4 月 20 日

東京都知事 殿

報告者 住所 東京都新宿区西新宿4-0-×

氏名 氏名 (株) O×産業 代表取締役 新宿 太郎 印

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

許可番号	13- 〇〇 - 〇〇〇〇〇〇	担当者氏名	〇田 ×男	電話番号	03-0000-0000
------	-----------------	-------	-------	------	--------------

東京都廃棄物条例第14条の3第1項に基づき、処理状況について次のとおり報告します。

事業概要

処分を行う事業場の所在地	事業場(その1) 新宿区西新宿2-×-△	事業場(その2)	事業場(その3)
処分を行う事業場(その1)の概要		処分を行う事業場(その1)で処分した産業廃棄物の種類	
処分の方法	処理能力	主な搬出先となっている中間処理施設の所在地	
〇〇の破碎	20 t/日	〇〇 都・道・府・県 〇〇 区・市・町(本) 焼却灰を溶融スラグ化して、資源化するため	
〇〇の焼却	10 t/日	〇〇 都・道・府・県 〇〇 区・市・町	
	t/日	〇〇 都・道・府・県 〇〇 区・市・町	
	t/日	主な搬出先となっている埋立処分場の所在地	
	t/日	〇〇 都・道・府・県 ×× 区・市・町 (本) <input type="checkbox"/> 安定型 <input checked="" type="checkbox"/> 等理型 <input type="checkbox"/> 液断型	
	t/日	×× 都・道・府・県 ×× 区・市・町	
	t/日	△△ 都・道・府・県 ×× 区・市・町	
受入時間	9 : 00 ~ 17 : 00		
計量器の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

- 計画したり、取り組んでいる内容として、該当するものを選択(複数選択可)。
- 選択肢以外に取り組んでいる事項があれば、「その他」を選択して内容を記入。
- 「公開頻度」は、近隣住民に積替・保管施設を公開している場合の公開頻度を選択。

<p>適正処理の実現に向けた社内の取組内容</p> <p>○ 従業員の教育訓練の実施状況</p> <p>■ 社内研修を実施している。</p> <p>(研修の内容) <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法について <input type="checkbox"/> 安全性の確保について</p> <p>■ 事故時の対応について</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>(研修の頻度) <input type="checkbox"/> 年1回 <input type="checkbox"/> 半年に1回 <input type="checkbox"/> 3ヶ月に1回</p> <p>■ 月1回 <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>■ 外部研修を受講させている。</p> <p>(研修の内容) ■ 廃棄物処理法について <input type="checkbox"/> 安全性の確保について</p> <p><input type="checkbox"/> 事故時の対応について</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>(研修の頻度) ■ 年1回 <input type="checkbox"/> 半年に1回 <input type="checkbox"/> 3ヶ月に1回</p> <p><input type="checkbox"/> 月1回 <input type="checkbox"/> その他()</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他()</p>	<p>○ 処理に係る自社情報の公開状況</p> <p>■ 搬入から搬出までの作業内容を公開している。</p> <p>■ 緊急時の対応方法を定めたマニュアルを公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 廃棄物処理法に基づく帳簿を公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 独自に、搬入量・保管量・処分量・搬出量の定期的な公開を実施している</p> <p><input type="checkbox"/> 独自に、処分状況の写真の定期的な公開を実施している。</p> <p>■ 近隣住民に処分を行う事業場を公開している。</p> <p>(公開頻度)</p> <p>■ 定期的に公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 申出があれば公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他()</p>
---	--

添付する写真の内容

(第3面)

報告期間末の施設の現況

施設の名称を記入

- 報告対象期間末の月末の状況を報告する。
- 写真の撮影年月日を記入。写真に日付の印字がある場合は同一の日付となる。

処分を行う事業場(その1)における施設の現況

2020年3月31日現在

①施設の外觀(施設名称: **破碎施設**)

- 事業場内の処理施設の外觀がわかる写真を添付する。

) ②処分前の産業廃棄物の保管状況

- 当該処理施設で処理を行う前の産業廃棄物の保管場所の写真を添付する。

③施設への産業廃棄物の投入状況

- 当該処理施設に産業廃棄物を投入している状況の写真を添付する。

④施設から排出された産業廃棄物の状況

- 当該処理施設で処理された産業廃棄物の写真を添付する。

⑤処分後の産業廃棄物の保管状況

- 当該処理施設で、処理を終えた産業廃棄物の保管場所の写真を添付する。

- システムで報告を行う場合、写真データの保存形式は「.jpg」とし、1枚当たりのデータ容量は100キロバイト程度(最大でも150キロバイト未満)とする。

報告を紙様式で行い、報告書に写真プリントを貼付する場合

報告期間末の施設の現況

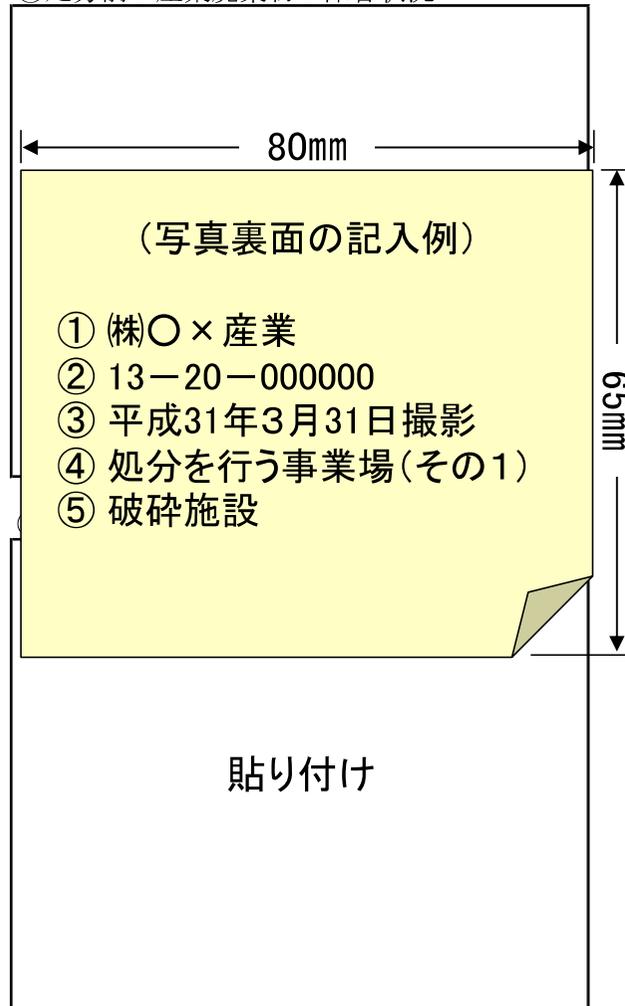
処分を行う事業場(その1)における施設の現況

2020年3月31日現在

①施設の外観(施設名称: **破碎施設**)



②処分前の産業廃棄物の保管状況



③施設への産業廃棄物の投入状況



④施設から排出された産業廃棄物の状況



●各写真の裏面に、次の①～⑥の事項を記入した上で、写真プリントを貼り付ける。

- ①事業者名
- ②許可番号
- ③撮影年月日
- ④処分を行う事業場の番号
- ⑤施設の名称
- ⑥撮影対象物

報告を紙様式で行い、デジタルカメラ等電子データで写真を送付する場合

報告期間末の施設の現況

処分を行う事業場(その1)における施設の現況

2020年3月31日現在

①施設の外観(施設名称: **破碎施設**)

(記入例)
ファイル名: **施設の外観**

) ②処分前の産業廃棄物の保管状況

(記入例)
ファイル名: **処分前の保管状況**

③施設への産業廃棄物の投入状況

(記入例)
ファイル名: **施設への投入状況**

④施設から排出された産業廃棄物の状況

(記入例)
ファイル名: **排出状況**

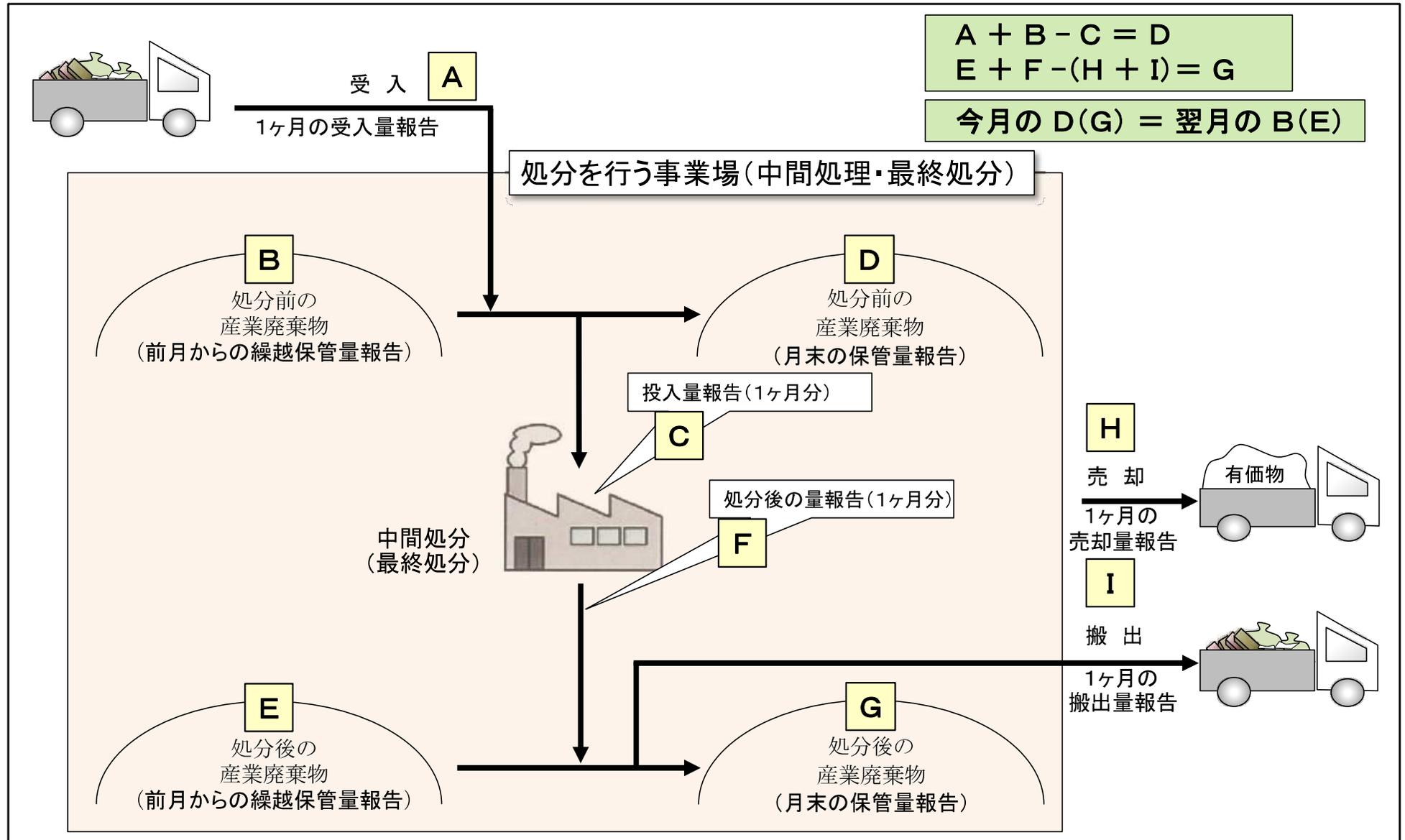
⑤処分後の産業廃棄物の保管状況

(記入例)
ファイル名: **処分後の保管状況**

- 報告様式の枠内に、電子データで報告の旨と、該当する写真のファイル名を記入する。
- 写真は、CD-Rに保存して提出。
- メディアに、以下の事項を記入したシールを貼り付ける。
 - ①事業者名
 - ②許可番号
 - ③撮影年月日
 - ④処分を行う事業場の番号
 - ⑤施設の名称

産業廃棄物処分業の処理状況報告書(第5～6面)報告イメージ

☆ 廃棄物処理法第14条第15項及び第14条の4第16項に基づく帳簿をもとに報告



処理の実績
2019

第5～6面は、処分を行う事業場ごとの実績について1ヶ月ごとに集計した数値を6か月分報告する。

5面)

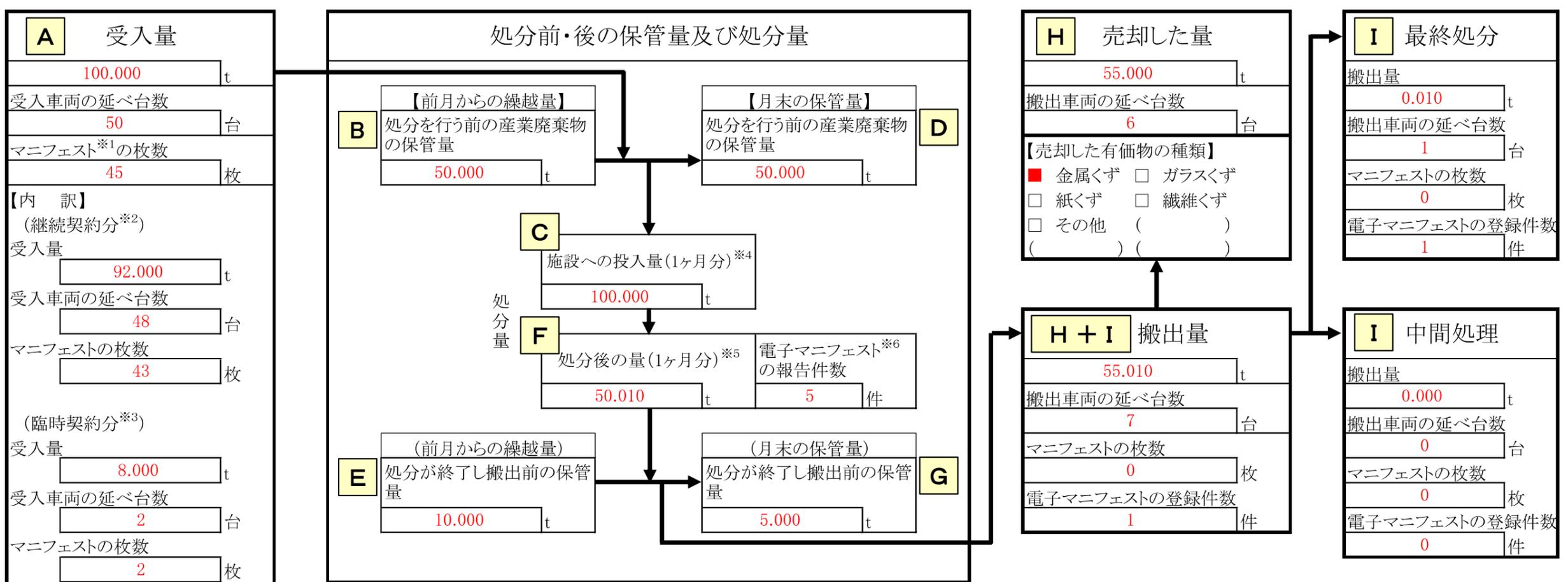
【記入例】
 ①受入量／100 t
 内訳：契約継続 92 t 臨時契約 8 t
 種類別内訳：金属くず 80 t 廃油 20 t
 ②処分量／100 t (金属くず50 t → 破碎、廃油50 t → 焼却)
 ③処理後の残さの量／50.01 t (金属くず50 t、燃え殻0.01)
 ④搬出量／55.01 t (金属くず55 t → 売却、燃え殻0.01 → 最終処分)

当月に実績のあった契約の件数	50	件
----------------	----	---

処分を行う事業場(その1)への搬入量、保管量、処分量、搬出量

搬入、保管、処分、搬出の実績なし

搬出先施設



燃え殻		t	ゴムくず		t
汚泥		t	金属くず	80.000	t
廃油	20.000	t	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		t
廃酸		t	鋳さい		t
廃アルカリ		t	がれき類		t
廃プラスチック類		t	動物のふん尿		t
紙くず		t	動物の死体		t
木くず		t	ばいじん		t
繊維くず		t	政令13号物		t
動植物性残さ		t	合計	100.000	t
動物系固形不要物		t			

$$A + B - C = D$$

$$E + F - (H + I) = G$$

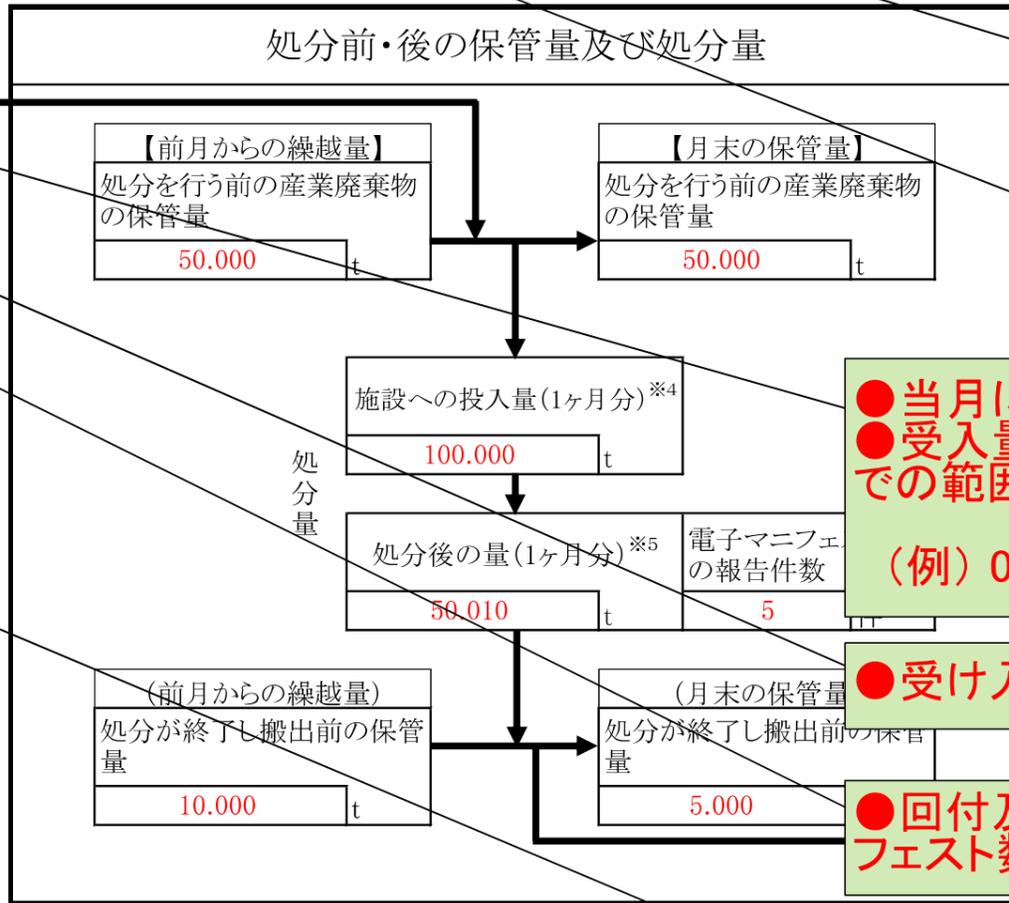
【記入例】
 ①受入量/100 t
 内訳：契約継続 92 t 臨時契約 8 t
 種類別内訳：金属くず 80 t 廃油 20 t
 ②処分量/100 t (金属くず50 t → 破碎、廃油50 t → 焼却)
 ③処理後の残さの量/50.01 t (金属くず50 t、燃え殻0.01)
 ④搬出量/55.01 t (金属くず55 t → 売却、燃え殻0.01 → 最終処分)

処理の実績
 【 2019 年 10 月実績】
 ● 報告する年月を記入

当月に実績のあった契約の件数 件

処分を行う事業場(その1)への搬入量、保管量、処分量、搬出量 搬入、保管、処分、搬出の実績なし 搬出先施設

受入量	
100.000	t
受入車両の延べ台数	50 台
manifests*1の枚数	45 枚
【内訳】	
(継続契約分*2)	
受入量	92.000 t
受入車両の延べ台数	48 台
manifestsの枚数	43 枚
(臨時契約分*3)	
受入量	8.000 t
受入車両の延べ台数	2 台
manifestsの枚数	2 枚



売却した量	
6	台
最終処分	
搬出車両の延べ台数	0
manifestsの枚数	0
電子 manifestsの登録件数	0

● 実績が無い場合は、「搬入、保管、処分、搬出の実績なし」を選択。
 ● 報告する月に受入実績があった契約の件数を記入。
 ● 当月に受け入れた産業廃棄物の量を記入。
 ● 受入量が1トン未満の場合は、小数点以下第3位までの範囲で記入。
 (例) 0.0009tの場合は、切り上げて0.001t

● 受け入れに使用された車両の延べ台数を記入。
 ● 回付及び直接排出事業者から交付を受けた紙 manifests数を記入。

産業廃棄物の種類別の実績(処分を行う事業場(その1)に受け入れた)	
燃え殻	t
汚泥	t
廃油	20.000 t
廃酸	t
廃アルカリ	t
廃プラスチック類	t
紙くず	t
木くず	t
繊維くず	t
動植物性残さ	t
動物系固形不要物	t
ゴムくず	t
金属くず	t
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	t
鋳さい	t
がれき類	t
動物のふん尿	t
動物の死体	t
ばいじん	t
政令13号物	t
合計	t

● 当月に受け入れた産業廃棄物量等の内訳を記入。
 ● 継続契約分には、一定期間継続して処分を行うことを前提とした契約を締結している排出事業者から受け入れた産業廃棄物量等を記入。
 ● 臨時契約分には、単発的な処分を行う契約で受け入れた産業廃棄物量等を記入。

● 受入量を種類別に記入。

処理の実績

【 2019 年 10 月実績 】

当月に実績のあった契約の件数	50	件
----------------	----	---

【 記入例 】

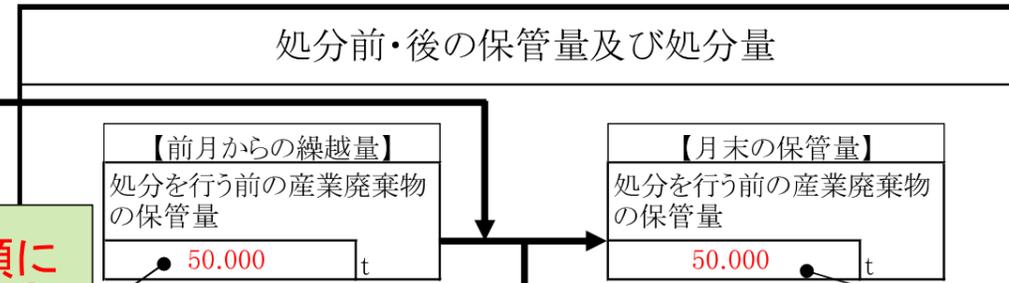
- ① 受入量 / 100 t
内訳：契約継続 92 t 臨時契約 8 t
種類別内訳：金属くず 80 t 廃油 20 t
- ② 処分量 / 100 t (金属くず 50 t → 破碎、廃油 50 t → 焼却)
- ③ 処理後の残さの量 / 50.01 t (金属くず 50 t、燃え殻 0.01)
- ④ 搬出量 / 55.01 t (金属くず 55 t → 売却、燃え殻 0.01 → 最終処分)

処分を行う事業場(その1)への搬入量、保管量、処分量、搬出量

搬入、保管、処分、搬出の実績なし

搬出先施設

受入量	
100.000	t
受入車両の延べ台数	50
	台



売却した量	
55.000	t
搬出車両の延べ台数	6
	台
【売却した有価物の種類】	
<input checked="" type="checkbox"/> 金属くず	
<input type="checkbox"/> 紙くず	
<input type="checkbox"/> その他	

最終処分	
搬出量	0.010
	t
搬出車両の延べ台数	1
	台
マニフェストの枚数	0
	枚
電子マニフェストの登録件数	

●前月から繰り越して、月頭に保管している、処分を行う前の産業廃棄物の量を記入。

●処分を行う施設に投入された産業廃棄物の量を記入。
●同一事業場内で、複数の施設での処分を行う場合には合算した投入量を記入。
●ただし、処分完了までに複数の処分行程を経る場合(破碎後に焼却を行うなど)は、最初の処分行程への投入量(破碎量)を記入。

●月末に保管している、処分を行う前の産業廃棄物の量を記入。

●情報処理センターに処分が終了した旨を報告した件数を記入。

●月末に保管している、処分が終了し搬出可能な状態となった産業廃棄物の量を記入。

●処分後の残さの量を記入。

●前月から繰り越して、月頭に保管している、処分が終了し搬出可能な状態となった産業廃棄物の量を記入。

産業廃棄物の種類別の実績(処分を行う事業場(その1)に受け入れた量)

ゴムくず	t		t
金属くず	t	80.000	t
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	t		t
20.000	t		t
鋳さい	t		t
がれき類	t		t
動物のふん尿	t		t
動物の死体	t		t
ばいじん	t		t
政令13号物	t		t
合計	t	100.000	t

【記入例】
 ①受入量／100 t
 内訳：契約継続 92 t 臨時契約 8 t
 種類別内訳：金属くず 80 t 廃油 20 t
 ②処分量／100 t (金属くず50 t → 破碎、廃油50 t → 焼却)
 ③処理後の残さの量／50.01 t (金属くず50 t、燃え殻0.01)
 ④搬出量／55.01 t (金属くず55 t → 売却、燃え殻0.01 → 最終処分)

処理の実績

【 2019 年 10 月実績】

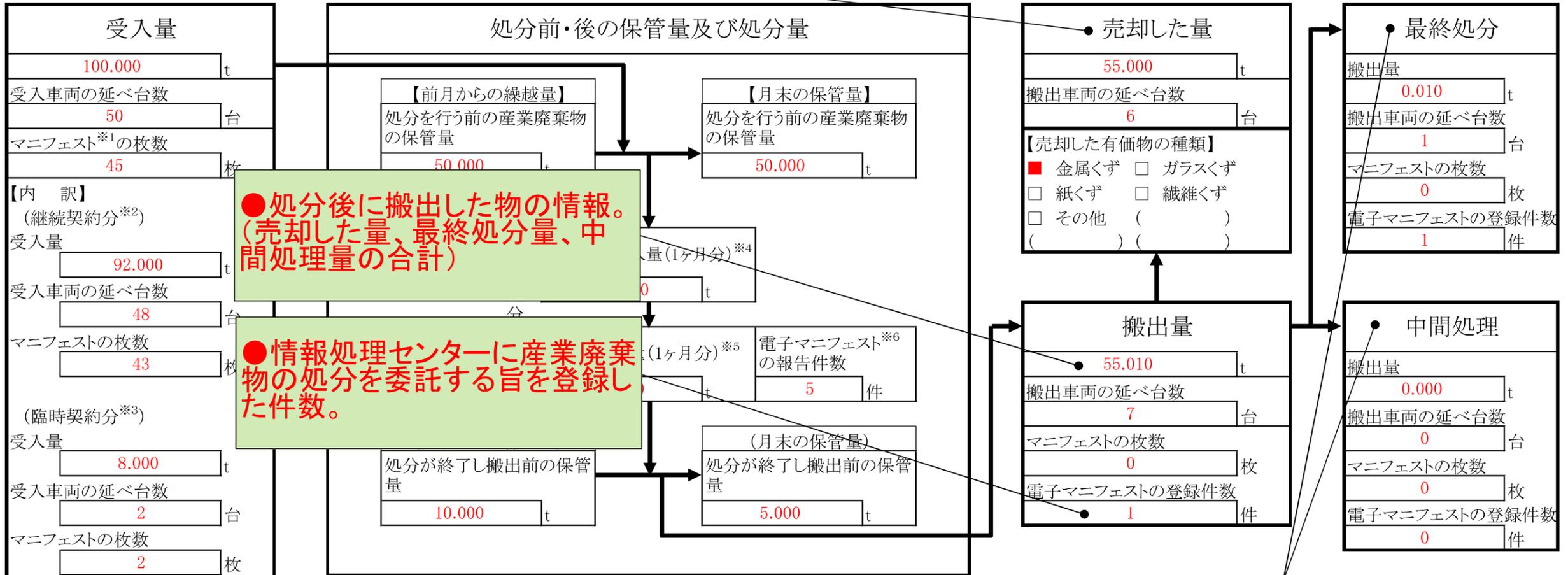
当月に実績のあった契約の件数 50 件

● 処分後に売却した物の情報。

処分を行う事業場(その1)への搬入量、保管量、処分量、搬出量

搬入、保管、処分、搬出の実績なし

搬出先施設



● 処分後に搬出した物の情報。
 (売却した量、最終処分量、中間処理量の合計)

● 情報処理センターに産業廃棄物の処分を委託する旨を登録した件数。

● 処分後に搬出した産業廃棄物の情報。

● 同様に、第5面(コピー等で6枚用意)に、事業場(その1)の11月、12月、1月...3月の各月の実績を記入。
 ● 事業場が複数ある場合は、第6面を使用して同様に各月の実績を記入。

燃え殻		ゴムくず	
汚泥		金属くず	80.000
廃油	20.000	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
廃酸		鋳さい	
廃アルカリ		がれき類	
廃プラスチック類		動物のふん尿	
紙くず		動物の死体	
木くず		ばいじん	
繊維くず		政令13号物	
動植物性残さ		合計	100.000
動物系固形不要物			

記入要領(補足)

- 産業廃棄物処分業者の処理状況報告書
- 特別管理産業廃棄物処分業者の処理状況報告書

記入要領に加え、この記入要領(補足)を活用の上、産業廃棄物処分業者及び特別管理産業廃棄物処分業者の処理状況報告書を記入してください。

【第1面・第2面】

- 処分を行う事業場の所在地
移動式の装置で許可を受けている場合、「移動式」と記入してください。
- 処分を行う事業場(その1)の概要
 - ☆ 「計量器の有無」以外の欄は、許可内容を転記してください。
 - ☆ 処理能力は混合処理能力を転記してください。混合処理能力がない場合は、種類ごとの処理能力を記入してください。
- 処分を行う事業場(その1)で処分した産業廃棄物の主な搬出先施設の所在地
 - ☆ 中間処理後に、貴社が排出事業者として排出した産業廃棄物の、搬出先の施設の所在地について記入してください。
 - ☆ ただし、処理後に、貴社が売却した物の売却先の所在地については記入不要です。
- 処理に係る自社情報の公開状況
「公開頻度」は、近隣住民に処分を行う事業場を公開している場合に、事業場の公開頻度について該当するものを選択してください。

【第3面・第4面】

- 報告期間末の施設の現況
処分を行う事業場ごと、事業場内の処理施設ごとに写真を撮影してください。撮影していただく写真は次のとおりです。
 - ① 施設の外観
処分を事業場内の処理施設(破砕機や焼却炉などの装置)の外観がわかる写真を撮影してください。
 - ② 処分前の産業廃棄物の保管状況
①の処理施設で処理を行う前の産業廃棄物の保管場所の写真を撮影してください。
 - ③ 施設への産業廃棄物の投入状況
①の処理施設に産業廃棄物を投入している様子を撮影してください。
 - ④ 施設から排出された産業廃棄物の状況
①の処理施設で処理された産業廃棄物を撮影してください。
 - ⑤ 処分後の産業廃棄物の保管状況
①の処理施設で、処理を終えた産業廃棄物の保管場所の写真を撮影してください。

○ その他報告上の留意事項

- ☆ 電子データでの写真の提出
保存形式は JPEG 形式、1枚あたりの容量は 100 キロバイト程度(最大でも 150 キロバイト未満)としてください。
- ☆ 報告の対象となる期間内に、産業廃棄物の搬入、保管、処分、搬出の実績がまったくない場合の写真の取り扱い
 - ◎ 「施設の外観」、「処分前の産業廃棄物の保管状況」、「処分後の産業廃棄物の保管状況」の写真を撮影してください。
 - ◎ 「施設への産業廃棄物の投入状況」、「施設から排出された産業廃棄物の状況」欄は、「報告対象外」を選択(紙様式で報告いただく場合は写真貼付欄に「報告対象外」と記入)してください。
- ☆ 自動車リサイクル法の専従業者の場合の写真の取り扱い
 - ◎ 自動車リサイクル法に基づく処理のみ行っている場合には、「報告対象外」を選択(紙様式で報告いただく場合は写真貼付欄に「報告対象外」と記入)してください。
 - ◎ 併せて、第1面「適正処理の実現に向けた社内の取組内容」の「その他」欄に、「自動車リサイクル法専従業者」と記入してください。

【第5面・第6面】

- 処分を行う事業場への搬入量、保管量、処分量、搬出量
 - ☆ 処分を行う事業場を複数有する場合の報告
第6面を活用して、処分を行う事業場ごとの実績について1ヶ月ごとに集計してください。